

## 噛んではいけないものを噛む時

仔犬はあらゆるものを口に入れて確かめようとします。たとえ噛んでもいいおもちゃを与えていても、それ以外のものも噛んでしまいます。もし知らないうちに被害がおこってしまったら、仔犬の成長のための教材ときっぱりあきらめましょう。やっける最中ならまだしも**イタズラが終わってしまった後で仔犬を叱りつけてもあまり解決にはなりません**。噛んでいる最中に見つけたら低い声で「ダメ!」とか「ノー!」と言って取り上げ、しばらくのあいだ無視しましょう。

やっける最中に叱るのも、場合によっては逆効果になることもあります。それは仔犬があなたの注意を引きたがっているときです。たとえばあなたが忙しく仔犬にかまってあげられない 時間帯などに、仔犬におもちゃを与えて仕事をしているとします。横目で子犬を見るとさっき与えたガムを噛んでいます。あなたは安心して仕事を続けます。仔犬はすぐにガムに飽きて今度はあなたのサンダルを噛み始めます。そうするとあなたがあわてて飛んでいって「だめ!」と行ってサンダルを取り上げてしばらく仔犬と遊んであげるとします。仔犬はどう思うでしょうか? 「サンダルを噛むと遊んでもらえる」と学習するわけです。



たとえ遊んであげなくても、叱ることが仔犬にとっては注目されるというご褒美になります。叱られてうれしいという気持ちは、我々大人には理解しがたいものですが、小学生の男の子が好きな女の子の気を引くためにイタズラをするのと同じです。ですから**噛んでも良いおもちゃを噛んでいる時こそ声をかけ、一緒に遊んであげてください**。

また**仔犬に噛まれたら困るものにはイヤな味や匂いをつけておくことも一つの方法**です。ビターアップルといって犬の嫌う味にするスプレーが市販であります。刺激の強い家庭用の調味料(からし・わさび・とうがらし)やミントのようなきつい匂いのするものも効果的です。

それから仔犬が間違えて飲み込んでしまうと害になるもの、たとえば人間の薬剤、消化せずに胃や腸管につまってしまう可能性のあるもの、とがったものなどには十分をつけてください。また**犬用のおもちゃやボール等でも犬のサイズのわりに小さい物では飲み込んでしまうこともあります**。

動物病院にいると毎年何頭かの犬が消化できないもの食べて消化管につまってしまったたり、人間の薬を飲んで様子がおかしくなってしまうという事故に遭遇します。参考までにどのような物がよく問題になるかといいますと、パリパリとまるでお菓子の包みのような魅力的な音のする包みに入ったお菓子、食べ物の包みであるラップやアルミホイル、食べ物が入っていたつまり食べ物の匂いがする)ビニール袋、ヤキトリのついた竹串、人間の臭いがするはいた後の靴下やスリッパなどは犬の好物です。また石ころやじゃりなどを食べてしまう子もいます。**現場を発見して、むりやり取り上げようとする、たいてい仔犬は大急ぎで飲み込んでしまいます**。現場を見つけたら、落ち着いて仔犬の名前を呼び、注意をそらしておいて、好物を見せ、自分で口から出すのを待った方が賢明です。

そしてこのような仔犬にとって危険と判断されるものは、口にしないというしつけをする以前に、**人間の責任で仔犬の手の届かないところに置いておく事が大切**です。



このペーパーは株ペット・ペット社が提供する **PET LOVERS' FORUM** (<http://www.pet-vet.or.jp>)で、もみの木動物病院 村田香織先生が提供されたものを一部改編して作成しております。

イラスト著作: くぼじょうこ

このペーパーは下記当院のインターネットホームページで24時間無料で取り出せます。また、ホームページには他にも様々な情報が掲載してありますので、ぜひご覧ください。



Copyright (C) 2001 Tatsuya Fukuyama DVM, AFP IKI ISLAND VETERINARY CLINIC.  
Tel 0920-47-6767 Fax 0920-47-0350 e-mail: foffice@bronze.ocn.ne.jp  
<http://www.ikikoku.com/pet.html>